

好天に恵まれ、見聞
と親睦を深めました

東京赤坂ロータリークラブ 2025-2026年度 親睦旅行 30名（会員20名 家族10名）
行先：出雲：松江： 日時：2026年4月11日（土）～ 4月13日（月）

2026年4月11日（土） 晴れ

JAL 279便 09:20 羽田 ⇒ 10:45出雲

出雲大社 正式参拝 縁を結ぶ オオクニヌシ



日御碕神社 スサノオをまつる（上の宮）
アマテラスをまつる伊勢神宮と対の神社（下の宮）

特別企画 美術館レストラン（貸切り 夕日鑑賞）
小泉凡（ラフカデオハーン 孫）講演



宿泊 松江温泉（ホテル一畑） 松江の名湯

2026年4月12日（日） 晴れ

月照寺・小泉八雲旧居・松江城・堀川遊覧



特別企画 紙漉き体験



宿泊 玉造温泉（長楽園）

2026年4月13日（月） 晴れ

足立美術館

23年連続日本庭園 1位 ゆっくり堪能



美保神社 正式参拝

全国3800か所のえびす神社の総本宮



がいな鬼太郎

ANA388便

17:30米子 - 19:00羽田

大亀を救う

補修費6500万円のうち、1300万円をクラウドファンディング

八雲とセツも見つめた松江の化け亀 | 月照寺「大亀像」を倒壊から救う

月照寺



目標金額の達成の有無にかかわらず実行者は支援金を受け取ります (All in 方式)。原則、支援のキャンセルはできません。支援募集は6月15日(月)午後11:00までです。

支援総額
7,845,000円 目標金額 13,000,000円

50%
支援者 残り
272人 59日

応援コメント



「ばけばけ」に地方を学ぶ

【松江】東京赤坂ロータリークラブ(鈴木貞史会長)が、社会課題に関心が深い会員30人が11日から3日間、出雲大社やNHK連続テレビ小説「ばけばけ」に登場した小泉八雲ゆかりの地を訪れ、文化の伝承の難しさをや進行する過疎化といった地方の実情に触れた。訪問は、クラブ会員で松江観光大使を務める出川敬司さん(70)が、松江市出身の一行は初日は出雲大社を正式参拝して大遷宮について学び、島根県立美術館で八雲のひ孫で小泉八雲記念館の小泉凡館長の講話を聞いた。出雲市特産のブドウ栽培の担い手不足などについても学んだ。12日は月照寺(松江市外中原町)を訪れ、修理へ向けた準備が進む大亀像を見学した。

大亀を見る会員ら—松江市外中原町、月照寺

鈴木会長(左)は、出雲大社で聞いた遷宮に当たっての技術継承や資金調達などの難しさが印象に残ったとし「東京では見えないことが多かった。文化を守るお手伝いがしたいとの思いを強くした」と話した。

(新藤正春)

私の曾祖父・小泉八雲は木々に覆われた月照寺を愛し、時折、散歩で訪れていました。そして、この大亀の碑が夜中に市中を徘徊したという都市伝説を「杵築雑記」(『知られぬ日本の面影』)に記しました。八雲は人工物にも靈魂が宿ると考える日本人のアニミズムの思考に大いに共感したのです。

アニミズムとは言い換えれば、「人間が地球の支配者ではない」とする、自然や異界を畏怖する思想です。その象徴である大亀の碑は単なる石像ではなく、松江の歴史や文化、そして人々の心に深く根ざした、かけがえのない文化財です。

このたびの修復プロジェクトは、この貴重な文化財を未来へ継承していく上でとても大切だと思います。この大亀の碑が再び輝きを取り戻し、松江の文化と観光のシンボルとして、これからも多くの人々に愛され続けるよう、この取組みを応援してまいります。(小泉凡)

会長、大亀を助けてください。

凡先生、お任せください。



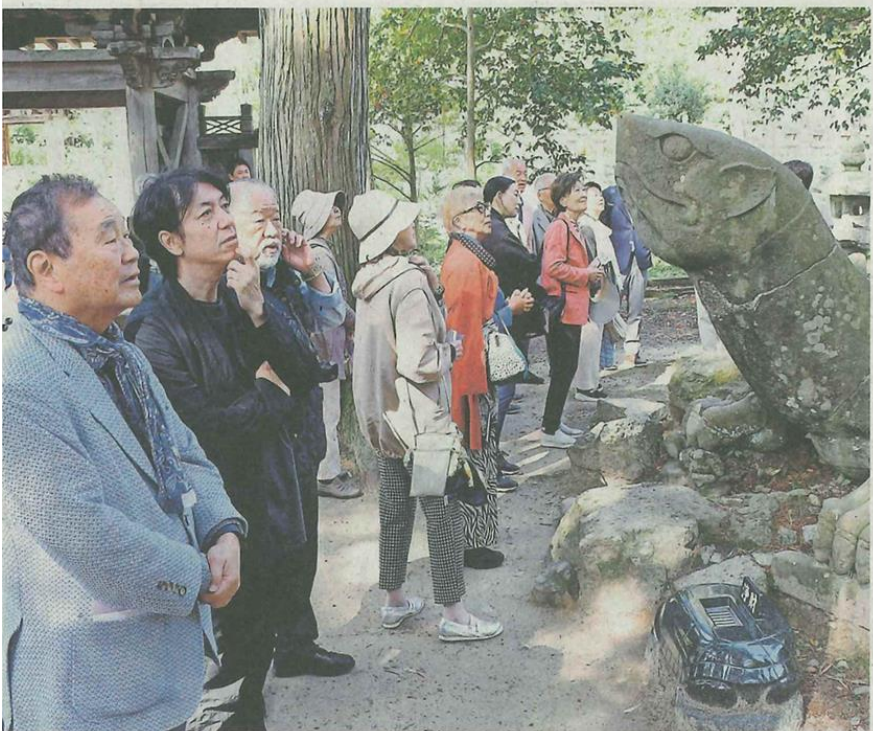
「ばけばけ」に地方を学ぶ

【松江】東京赤坂ロータリークラブ(鈴木貞史会長)の会員30人が11日から3日間、出雲大社やNHK連続テレビ小説「ばけばけ」に登場した小泉八雲ゆかりの地を訪れ、文化の伝承の難

しさや進行する過疎化といった地方の実情に触れた。訪問は、クラブ会員で松江観光大使を務める出川敬司さん(70) 松江出身 一行は初日は出雲大社を正式参拝して大遷宮について学び、島根県立美術館で八雲のひ孫で小泉八雲記念館の小泉凡館長の講話を聞いた。出雲市特産のブドウ栽培の担い手不足などについても学んだ。12日は月照寺(松江市外中原町)を訪れ、修理へ向けた準備が進む大亀像を見学した。

鈴木会長(71)は、出雲大社で聞いた遷宮に当たっての技術継承や資金調達の難しさが印象に残ったとし「東京では見えないことが多かった。文化を守るお手伝いがしたいとの思いを強くした」と話した。

大亀を見る会員ら—松江市外中原町、月照寺



(新藤正春)